



余養だよい

令和6年12月23日
第3号(195通巻号)
北海道余市養護学校発行

チームとしての余養にふれて

教頭 伏見 浩之

今年も残りわずかとなりました。日頃の保護者、地域の皆様からのお力添えに感謝を申し上げます。

年度当初、校長から「安心安全な学校」、「地域との連携」、「ICTの利活用の推進」、「働き方改革」などとともに「児童生徒の将来を見据えて、知的好奇心を高める魅力ある教育を推進する」との目標が提示されました。これらを受け、職員一人一人が自身の役割を果たすべく、様々な活動にあたりました。

教育活動では、日常の学習に加え、特に運動会などの体育的行事、また学習発表会や高等部祭などの文化的行事において、いろいろな児童生徒の姿が見られたことと思います。周りのクラスメートに負けじと頑張る姿や、練習以上の力を発揮できたり、または練習どおりにうまくいかず困惑したりする姿など、いずれもとても躍動的な児童生徒の姿が見られたと感じております。参観された地域の方からも、「児童生徒の皆さんが楽しそうに参加していますね」などの感想をいただいております。私自身も、児童生徒の頑張りはもとより、そこに職員のチームワークも加わり作り上げた活動でもあるなと感じたところです。

地域との連携としては、本校の学校運営協議会（以下、コミュニティ・スクール）の取り組みが挙げられると思います。コミュニティ・スクールとは、学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子どもたちの成長を支えていく学校づくりを進めていくことをねらいとしております。学校と、その学校のある地域が相互に支え合うことで、全ての人々のウェルビーイングを目指すものです。本校のコミュニティ・スクールでは、地域の委員の皆様と学校職員とが話し合い、児童生徒にとってどのような活動が必要なのか、また地域と学校が互いに何を行えるのかなどを話し合っています。

これらは、児童生徒の皆さんを中心に、保護者、地域、我々教職員がチーム余養として互いに協力し合い育まれていくものと思います。今後も引き続き、皆様と結びつきながらこの余市養護学校の歩みを進めていきたいと考えております。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

☆☆☆きりり♪余養サポーターズの紹介☆☆☆

本校の子どもたちは、様々な方に支えていただいています。今回は、医療的ケアを必要とする子どもたちを支える学校看護師さんを御紹介します。

【石澤さん】毎日、子どもたちの可愛い笑顔に癒やされています。学校看護師として、先生方と情報共有し、寄り添う看護に努めています。いつでも子どもたちが安心感を得られるように、笑顔で向き合いたいと思っています。

【古川さん】子どもたちが、お友達と一緒にいつもの生活を送ってほしいという気持ちでいます。私にできることは、小さなことですが、ひとつでも笑顔が増える学校生活であってほしいと思います。担当：副校長

寄宿舎



～秋のプレゼン大会～

10月7日、舎生一人ひとりが自分の好きなことや紹介したいことなど発表する寄宿舎行事が行われました。それぞれの発表を聞き、友達のことを知ったり、興味関心をもつきっかけとなりました。発表に向けてタブレットやパソコンを使い調べたり、発表当日も活用する生徒がたくさんおり、ICT機器を積極的に触れる機会にもなりました。

担当：高木

小学部

～学習発表会～

低学年は、学級ごとに4種類の動物に扮して「てぶくろ」の物語を発表し、器楽演奏やダンス、それぞれが日常の学習で頑張っていることを披露しました。高学年は、全員でリズム打ちと「体ジャンケン」・「なべなべそこぬけ」を発表しました。練習を繰り返し、一人一人が力を出し切った、充実感あふれる学習発表会でした。 担当：宮本



中学部

～社会見学・子ども達と地域で学び合う学習～

社会見学では、保護者と一緒に余市水産博物館とフゴッペ洞窟の見学をしました。地域の歴史について知ることができ、日々の学習の成果を保護者と共有することができました。さらに、作業学習で取り組んでいる袋詰めをした箸を「柿崎商店」へ納品し、実際にその箸で昼食をとりました。柿崎商店の方から「割り箸の仕事をしてくれる皆さんと一緒に働く仲間だと思っています。」との言葉をいただき、地域とのつながりを実感することができました。担当：阿部



高等部

～校外学習の様子（高等部2年生）～

高等部2年生は、卒業後の生活を考えることを目的とした校外学習を行いました。「らしくホーム長橋（グループホーム）」、就労継続支援B型事業所の「ひだまり」や「ステップアップおたる」を見学し、家から離れた生活の場の見学や、利用者の方が働いている喫茶での昼食、蟹籠解体など作業の一部を体験させていただくなど、有意義な時間を過ごすことができました。 担当：鎌田



～行事や校外学習を通して～

昨年まで、児童生徒が参集で行事を行うことができませんでしたが、今年度は、児童生徒が集まり行事を行うことができました。みどりの里発表会では、保護者の方に参観していただいたり、在宅訪問では、本校の行事や校外学習に参加して、在宅訪問生や在校生と交流を楽しみました。担当：松島

訪問教育学級

